

# ★チャレンジ!夢に向かって★

～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

## 昔ながらの田植え体験学習を行いました！！

昨日の2・3校時、〇〇〇〇さんの田んぼをお借りし、昔ながらの田植え体験学習を行いました。あいにく雨のでしたが、子どもたちは元気に田植えに挑戦しました。

はじめの会では、私から「米」という漢字の由来について話をしました。由来には諸説ありますが、「米」は稲穂の実の部分をかたどった象形文字といわれています。また、お米が実り収穫するまで八十八回の手間をかけることから、八十八という漢字を分解して組み合わせて「米」という漢字ができたという説や「こめ」の語源としては「こめる」（つめる、心をこめる）といわれており、昔から神聖な儀式の供物にお米を利用していたことから、想いを込めるといった意味もあります。そこで、子どもたちには「豊作への願いを込めて田植えをしてほしい」と話しました。その後、5年生の〇〇〇〇〇さんから「苗を大事にして、丁寧に植えましょう。田んぼはとても歩きにくく、転びやすいです。全身泥まみれにならないように、気を付けて植えましょう。今年もおいしいお米をたくさん育てたいです。今日は久しぶりの縦割り班の活動です。全校のみんなで力を合わせて頑張りましょう。」という呼び掛けがありました。

J A秋田おばこ太田支店太田営農センターの〇〇〇さんから苗の植え方を教えていただき、それを受けて縦割り班ごとに田んぼに入って田植えをしました。はじめのうちは、足がぬかるんだりして動きがとれなかったりしましたが、次第に手際よく植えていく子どもたちが多く、それぞれに豊作への願いを込めて無事に終わることができました。なかには、泥まみれになる子どももいましたが、足の指から抜ける泥の感触を楽しみ、子どもたちにとっては貴重な体験となりました。

終わりの会では、5年生の〇〇〇〇さんが全校児童を代表して「今年もみんな協力して無事に田植えを終えることができました。〇〇さん、いつも田んぼの管理をしてくださり、ありがとうございます。そして、お手伝いに来てくださった皆さん、今日は本当にありがとうございます。」と御礼の言葉を述べてくれました。

〇〇〇〇さんには、田植えに合わせて、代かき等田んぼの準備をしていただきました。高橋さんには、秋の稲刈りまでの間、水の管理や肥料等でお世話になります。また、J A秋田おばこ太田支店太田営農センターの〇〇所長さんをはじめ、〇〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんには、手植えに丁度よい大きさに育った苗を用意していただくとともに、子どもたちの田植えのお手伝いもしていただきました。さらに、子どもたち全員に米粉のクッキーをいただきました。ありがとうございました。

太田地域に住む子どもたちには、太陽の光を受け、土の養分を吸い、日毎に生長していく稲の育ち方について、折りに触れながら観察し、米づくりについて詳しく学んでほしいと願っています。

### お知らせ

田植え体験学習の様子は、学校ホームページのギャラリー（行事写真）及び校内のワークスペース前にある行事写真コーナーに掲載しています。御覧いただけますと幸いです。